

帝人株式会社 ■ 広報・IR室

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒541-8587 大阪府中央区南本町1丁目6番7号

TEL.06-6268-2763 FAX.06-6268-3010

●URL <http://www.teijin.co.jp>

2010年6月16日

ポリエステル繊維事業の今後の運営方針について

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪府中央区、社長：大八木 成男）は、このたび、ポリエステル繊維事業グループの今後の運営方針を策定しました。

ポリエステル繊維事業グループは、昨年8月に「グローバル最適生産体制の構築」と「不採算事業の抜本見直し」を方針とする構造改革プランを発表し、事業構造改革に向けた諸施策に取り組んでいます。既に、当初計画していた「不採算事業の抜本見直し」は基本的に完了し、「グローバル最適生産体制の構築」についても順調に推進しています。

こうした状況から、今後は「構造改革」から「成長・拡大戦略」へと軸足を移し、「グローバル最適生産・販売体制の構築」の完遂に向けてさらに推進していくとともに、新たなビジネスモデルを積極的に展開し、2010年度は黒字化、2012年度には営業利益50億円以上を目指し、「存在感のある安定収益事業」として持続的な成長を図っていきます。

1. 基本方針

- グローバル最適生産体制の構築
- 新たな収益構造を実現するビジネスモデルへの挑戦
- 外部企業との提携および活用による事業拡大

2. 主要な成長・拡大戦略

■ グローバル最適生産体制の構築

当初のプランに沿って実施してきた不採算事業の抜本見直し、および2010年度末までに完遂を予定している松山事業所からタイのグループ会社へのポリエステル繊維の生産移転などにより、コスト競争力と品質優位性をともに発揮できるグローバル最適生産体制を構築します。

■ 競争力のあるグローバルサプライチェーンの構築

昨年、構造改革プランとして発表した「グローバル最適生産・販売体制の構築」をさらに強力に推進するとともに、原糸・原綿については海外OEM、テキスタイルについては中国・ASEANの外部プロダクトチーム（PT）の活用も図り、グローバル市場に通用する強いコスト競争力を獲得します。また、NI帝人商事との連携・連動を強化することにより、製品納入の拡大も図っていきます。

■ 成長用途・市場へのアクセス

アパレルSBUは、中国市場への拡販に注力し、中国でのテキスタイル展開の比率を、2009年度の22%から2012年度には40%まで引き上げます。産業資材・製品SBUは、モビリティ市場、水処理市場などの成長市場において拡販を図ります。また、ナノファイバーなど帝人グループのオンリーワン技術を活用した新規市場の開拓にも注力していきます。

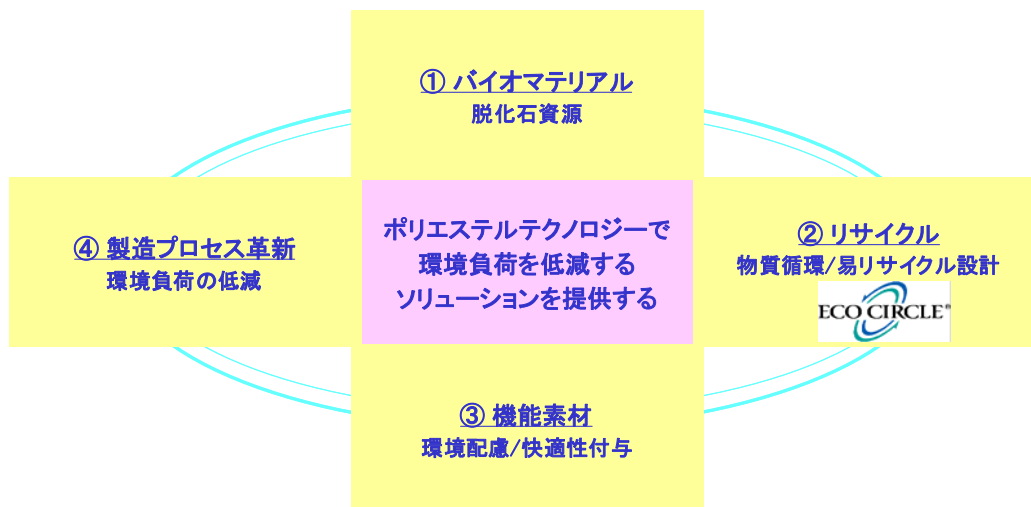
■ 帝人グループのエコ技術を活用した環境ビジネスの構築

帝人グループ独自のポリエステルテクノロジーを活用し、①バイオマテリアル、②リサイクル、③機能素材、④製造プロセス革新、を組み合わせたハイブリッド戦略を推進し、環境負荷を低減するソリューションを提供します。

特に新たな取り組みとしては、今後、バイオポリエステルを上市することとしており、汎用系から高機能系まで幅広いエコ素材を拡販していきます。

また、これまで注力してきた循環型リサイクルシステム「エコサークル®」については、従来の製品回収を前提としたリサイクルシステムのみならず、ポリエステルチェーン全体における様々な循環リサイクルを包括する概念へと進化・拡大を図り、中国ユニフォーム市場などの成長市場、産業資材用途などの成長用途を含め、今後さらなる拡大を図っていきます。

【 「エコサークル®」の進化・拡大 】



3. 業績イメージ

構造改革に向けて既に実施済み、もしくは現在推進中のアクションに加え、新たに「成長・拡大戦略」の具体的施策を確実に実行することにより、2010年度は黒字化、2012年度には営業利益50億円以上を目指し、「存在感のある安定収益事業」として持続的な成長を図っていきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 広報・IR室 (東京) TEL:03-3506-4055 (大阪) TEL:06-6268-2763